

ナウマン通信



2021年
3月12日発行
第37号

大阪市立我孫子南中学校

旅立ちの時



本日の卒業式で卒業生に贈った式辞を以下に紹介させていただきます。

式辞

122個のホットな気持ちで虹の列車を動かそう～未来への切符握りしめて～のスローガンのもと、3年間を全力で過ごした第24期生、122名の卒業生のみなさん、卒業おめでとうございます。また保護者の皆様、本日は、お子様のご卒業、本当におめでとうございます。教職員を代表して心からお祝いを述べさせていただきます。

今、一人ひとりに卒業証書を授与しました。たった一年の付き合いでしたが、感慨深い気持ちでいっぱいです。今年は二か月遅れで学校が再開しました。しかし皆さんはそんなハンデをものともせずいろんな場面で私たちに感動を与えてくれました。ハ、六平和人権学習での見事な発表。体育大会での気合の入った南中ソーラン。仲間を思うあったかな修学旅行。文化発表会での心のこもった作品の数々。そして最後に行った「俺の主張」。内容もさることながら、一人ひとりの発表を一人一人が全身で受け止めている姿に確かな足跡を残した皆さんの三年間が表れていました。そんなことを思い返していると、もっともっと皆さんとあび南での生活を過ごしたかったなあと思います。しかし、新たな道のりに決意と覚悟をもって臨もうとしている皆さんをつなぎとめることはできません。残念ですがお別れの時です。そして旅立ちの時です。そんな巣立ちゆく皆さんに最後に二つだけお話ししたいと思います。一つは「人の縁・えにし」を大切にして欲しいということです。こんな詩があります。『新しいことは、人の縁が運んでくれる。まわりを優しい目で見れば、優しい目で見てくれる人が現れる。まわりの成功を心から喜んでいれば、応援してくれる人が現れる。こんな人と出逢いたいと思ったら、自分がそういう人になれば、そういう人が現れる。人の「縁」は、あなたの鏡のようなもの。素敵な縁に巡り会いたかったら、まずは自分が素敵になろう。』どうか今以上に人とのつながりを大切にして素敵な大人になってください。そうすればみんなの周りに素敵な人が集まってくるはずです。

二つ目は「**今日も精一杯やったと思える一日一日を過ごしてほしい**」ということです。

これから的人生での時もっとああしておけばよかった。こうしておけば良かったと悔いを残すことがあると思います。しかし、**昨日に戻りたいと思うよりも明日が待ち遠しいと思える人生**を送って欲しいのです。では、そんな人生を送るために何が必要だと思いますか。それは次の5つです。

一つ目は「**口**」は人を励ます言葉や感謝の言葉を言うために使おう。

二つ目は「**耳**」は人の言葉を最後まで聴いてあげるために使おう。

三つ目、「**目**」は人のよいところを見るために使おう。

四つ目、「**手足**」は人を助けるために使おう。

最後に、「**心**」は人の痛みがわかるために使おう。という五つです。

このように心も体も、誰かを励ましたり勇気付けられるように感謝の気持ちで使っていくことができれば、待ち遠しい明日がやってくるはずです。頑張ってください。

では、卒業生の皆さん、我孫子南中学校はこれからも「止まり木のような学校」としてみなさんを見守っています。何かあったらいつでも力を蓄えに来てください。在校生も皆さん同様しっかり足跡を残してくれると信じています。安心していくください。最後に皆さんに、これから始まる新しい世界を力強く歩んでいかれんことを祈念し、私のお祝いの言葉とさせていただきます。

2021年3月12日 大阪市立我孫子南中学校 校長 田中 城明